



加賀爪氏累代の墓

昭和五年二月県指定旧跡

加賀爪氏は、徳川家に仕えて禪高ぜんこう一万石を領し、この地に陣營ちんえいをおいた領主です。しかし、元和元年(一六八一年)に加賀爪氏は、その家祿を断絶されました。
加賀爪政尚は、徳川家康に仕え、長久手の戦、小田原征伐に戦功があり、比企と相模国高座(神奈川県高座郡)に三千石を領しました。加賀爪忠澄は、関ヶ原の戦、大阪の役に戦功があり五千五百石を領し、江戸町奉行に登用されました。加賀爪直澄は、旗本中の乱暴者として通ったようですが、書院番隊長、寺社奉行等を勤めました。また、茶道にも通じていたらしく、鶴陽舎一明、別に、名月庵鑑とも号していたと伝えられています。
加賀爪氏は、直澄の代に成瀬氏との間で領地問題をおこし、天和元年(一六八一年)に領地を没収されています。墓碑は向って右から。

- 東雲院殿常圓宗深大禪定門(政尚) 高タカ二・七六米
- 高濟院殿自久妙然大姉淑堂(政尚室) 高タカ二・六八五米 十月三日
- 梅陽院殿幸山常居居士(直澄) 自享じきやう二乙丑天(一六八五年)正月三日
- 高雲院殿一玄宗黒大居士尊儀(忠澄) 寛永十八年(一六四一年)正月晦日
- 心光院殿孤雲正白大禪定尼台室(忠澄室) 承応元年(一六五二年)六月二十六日
- 安藤直次やすで なおしの女
- 雲澤院殿持孝玄輝居士(直澄) 自享じきやう二乙丑天(一六八五年)十月四日 高タカ二・五二米
- 正山春高童子(直澄の子) 元和八壬戌天(一六二二年)七月七日 高タカ二・〇七米
- 無間宗徹居士淑堂(直澄) 万治三庚子年(一六六〇年)舊月念五日 高タカ二・〇二米
- 華嚴清香堂女堂位(直澄室) 寛文十三癸丑(一六七三年)正月七日 高タカ一・六七米
- 持教清光院殿常誓貞姓大姉白堂(直澄室) 寛文元丁丑(一六六一年)七月二日 高タカ二・〇九七米
- 聖観音淨彫 心堂淨香居士 相雲妙悟大姉高タカ二・五五米

昭和五十二年三月
東松山市教育委員会
文化財を大切にしましょう







